

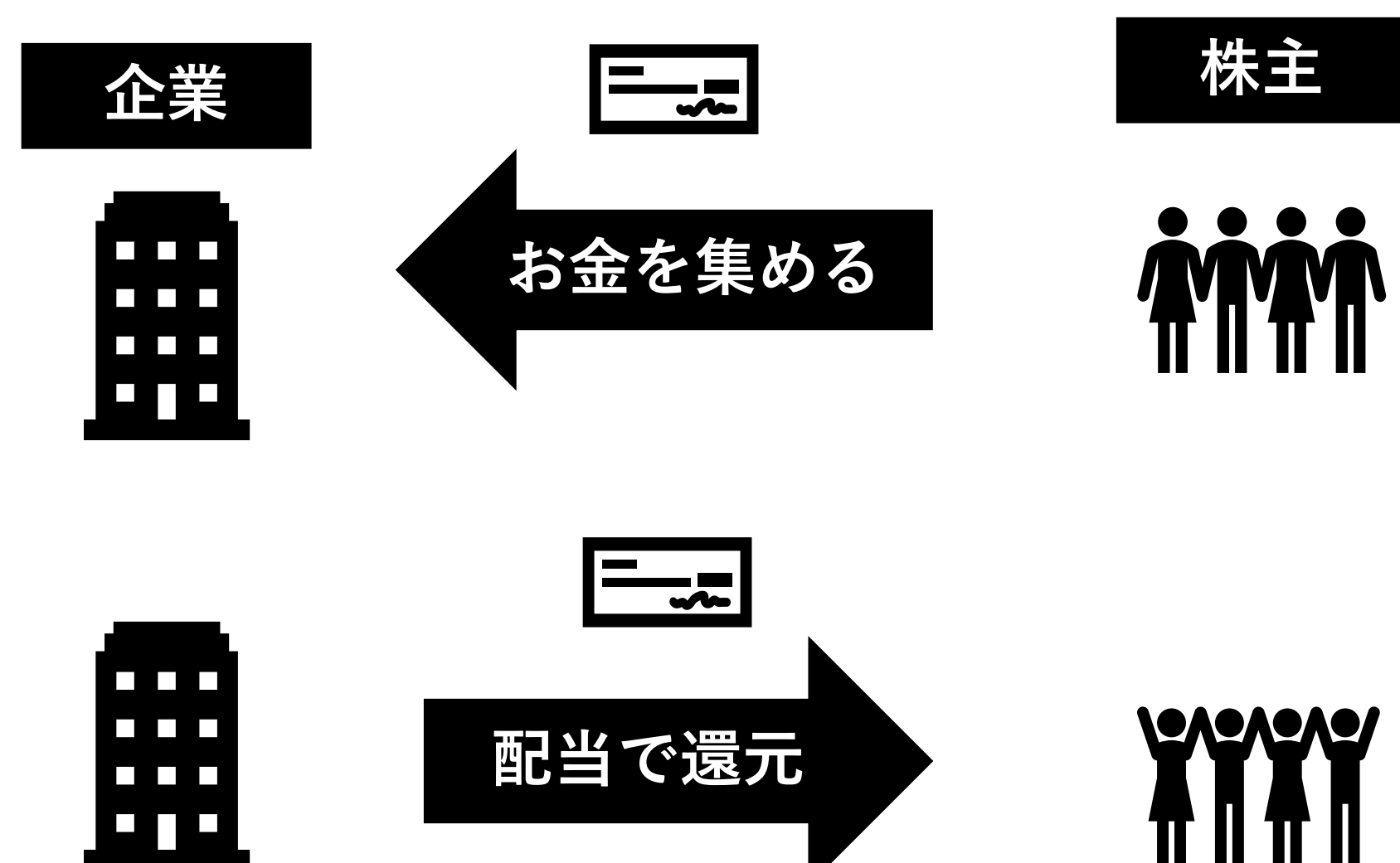


5. 【株式投資】について

株式での「資産運用」とは何なのか？

株式でお金を生み出す仕組み

インカムゲイン



株式を発行した会社が出した利益を、**分け前（配当）**としてもらう方法。
株式を発行した**会社（株式会社）**が利益を上げると、**株式の持ち主（株主）**にそれを分配しなければなりません。
分配された利益のことを「**配当**」といいます。
こうして、株主が配当により得る収益のことを**【インカムゲイン】**といいます。

キャピタルゲイン

 株価 500円 → 買い

買った株式を売却し**差額**の売却益を得ることを

【キャピタルゲイン】

といいます。

 株価 600円 → 売り

差額 **利益**

$$600円 - 500円 = 100円$$

インカムゲイン、株の配当について

基本的には良好な経営をしている会社であれば、着実に利益を上げ、株主に多くの配当をくれるだろうと期待できます。

良好な経営をしている会社の株式の場合は「**是非株を買いたい**」という人も多くなる訳なのでそれだけ値段も高くなる可能性が高くなります。

「たくさんの利益を上げるだろう」「たくさんの配当がもらえるだろう」と期待されるような企業の株式の値段は、（一時的に下がることはあり得ます）

世間の期待感によって基本的には上がっていく事が予想されます。

良好な会社をしっかりと見分けることができれば、株式で上手に**お金を増やす**事ができるといえます。

株式の値段（株価）は常に上がったたり下がったりして動くため、たとえ良好な会社の株式を買っても、買ったときより売るときに**値段が下がっていて損をする**ことだってあります。

そこが株式投資の難しいところであり、醍醐味なのです。



キャピタルゲイン、株の売却益について

株式の売り買いの値段の差により得られるお金を**【キャピタルゲイン】**といいます。

一般的に、「株で儲ける」というのはこのキャピタルゲインを指す事が多い。

企業は、株式を発行して集めたお金は持ち主に原則、返さなくていいことになっているので、100万円を出資してガンホーの株式を手に入れたが、数日後「急にお金が必要になったので100万円を返してくださいよ！」とガンホーの社員さんをお願いしても返してもらえない。（投資やめてまえ、バカタレww）

ただお金が欲しければ、その株式を誰かに売ればいいのです。

その際にもし130万円で株式が売れたら、その人は特に何の苦勞もなく30万円分得をしたこととなります。

（手数料や税金は別でかかります！！）

次に130万円で買った人が、さらにほかの人に140万円で売れば、その人も**10万円を得した**ことになるのです。

その得、売却益のことを【キャピタルゲイン】というのです。

魔弾の結論

- ・ 【インカムゲイン】 【キャピタルゲイン】 の2つがある。
- ・ 配当収入と株価が上がったことによって得られる利益の2種類。
- ・ キャピタルゲインは逆に株価が下がって損をすることもある。

